

平成31年度北区防災対策事業の概要

1 震災訓練について

(1) 自主防災組織の震災訓練

町会・自治会を母体とした自主防災組織（178組織）は、防災週間（8/30～9/5）を中心に、任意の日程で震災訓練を行っている。

平成31年度についても、防災関係機関の協力を得ながら地域の防災力向上に努めていく。

(2) 防災運動会

平成28年度から、地域の震災訓練に、警察・消防・自衛隊・ライフライン事業者など多様な防災関係機関の協力を得て、年代を問わず多くの住民が参加できる「防災運動会」を実施している。

平成31年度は、区内1か所での実施を予定している。

(3) 避難所開設訓練

北区地域防災計画では、59か所ある避難所の開設・運営を自主防災組織が担うことから、共助による円滑な開設ができるよう、避難所開設訓練の実施を働き掛けている。

平成31年度は、区が本年度中に配備する「避難所開設キット」をつかった訓練を本格的に導入する。

(4) 福祉避難所開設訓練

要配慮者のうち、特別な設備やケアが必要な方々については、学校避難所から福祉避難所（福祉施設など）への移送を予定している。

本年度、桐ヶ丘やまぶき荘で福祉避難所開設訓練を行い、他施設職員や関係者による訓練の見学を実施した。

平成31年度は、今年度の実施結果を踏まえ、他施設での訓練実施等、災害時における要配慮者支援の充実を図っていく。

(5) 北区災害対策本部立上げ訓練

熊本地震や大阪北部地震の教訓を踏まえ、発災時における区の応急対策をこれまで以上に確実かつ円滑に行えるよう、災対各部との通信訓練を含めた北区災害対策本部立上げ訓練を実施する。

2 水害対策について

(1) 水防訓練

荒川の大規模水害を想定し、区内消防署とともに、地元町会及び防災関係機関の協力を得た水防訓練を実施する。

(2) 雨水貯留施設整備

集中豪雨対策として、民間住宅への雨水貯留槽設置を支援するとともに、公共施設へ雨水貯留施設を整備している。

平成31年度は、八幡小学校（赤羽台3-18）への整備を目指した測量及

び基本設計を行う。

(3) 大規模水害を想定した避難行動のあり方検討

大規模水害時の区民の避難行動について、垂直避難の是非、避難所の割り振り、避難手段及び避難情報の受発信等について、学識経験者等の専門家を交えた検討会で取りまとめる。

3 備蓄物資について

(1) 避難所への配備

① 給水袋（手提げ式容量4リットル）

区の給水車が3台体制になったことから、在宅避難者へ飲料水を提供するための給水袋を、本年度に引続き避難所へ配備する（5か年計画の2年目）。

② 応急組立て給水槽（1トン×2基）

被災者への飲料水供給をこれまで以上に円滑に行うため、既存のポリタンク方式から、設置や移動が容易で、かつ区の給水車との接続が可能な組立て式のものを、本年度に引続き避難所へ配備する（5か年計画の2年目）。

③ 災害用汚物圧縮保管袋

避難所から排出される残飯やし尿袋（オムツ）などにより懸念される衛生問題に対応するため、圧縮保管袋（70cm×50cm）を、本年度に引続き避難所へ配備する（5か年計画の2年目）。

(2) 備蓄物資供給計画の策定

区では、被災者支援として59か所の避難所に飲料水・食料・日用品などを備蓄するとともに、12か所の区の防災倉庫に補充用物資を備蓄している。さらに、国や東京都からの支援物資を受け入れる地域内輸送拠点（区内3カ所の体育館）を指定している。

被災地での教訓を生かし、被災者ニーズと備蓄物資との mismatch の解消、大量の物資を管理する手法、荷卸しや倉庫間の輸送方法及び物資管理全体に関する情報管理などについて、学識経験者や物流の専門家などを交えた検討会で取りまとめる。

4 外国人居住者対策

(1) 防災地図の多言語化

大規模災害に伴う延焼火災から身を守る避難場所や避難所などを地図上に表した防災地図に関し、外国人居住者への情報提供を図るため、日本語版とともに多言語化版を発行する（英語、中国語、ハングル）。

(2) 洪水ハザードマップの多言語化

荒川の氾濫を想定した洪水ハザードマップに関し、防災地図同様、多言語化版を発行する。

(3) 外国人来館者対応（北区防災センター）

滝野川公園内にある北区防災センター（地震の科学館）には、修学旅行の生徒に加え、日本語学校の生徒、海外からの旅行者が多数来館している。

平成30年度実績では、21以上の国から来館があった。このため、ハンディ型の通訳機を導入し、外国人対応に努める。

5 防災まちづくり

(1) 密集住宅市街地整備促進事業

老朽木造住宅が密集し、公共施設等の整備が不十分な地区を対象に、避難路や延焼遮断帯の整備、老朽木造住宅等の建替えの促進を図るとともに、住環境の整備など災害に強い総合的なまちづくりに取り組んでいる。

平成31年度は、岩淵地区を候補に新たな地区の導入を目指した基礎調査を行う。

(事業導入地区)

- ・西ヶ原地区 (30.0 ha)
- ・志茂地区 (99.4 ha)
- ・十条駅東地区 (51.7 ha)
- ・十条北地区 (30.3 ha)
- ・十条駅西地区 (26.8 ha)

(2) 不燃化推進特定整備事業（木密地域不燃化10年プロジェクト）

甚大な被害が想定される木造密集地域のうち、地域危険度が高いなど、特に改善を図るべき地区を「不燃化特区」に指定し、東京都と北区が連携しながら整備を行っている。

(指定地区)

- ・十条駅周辺地区 (81.2 ha)
- ・志茂地区 (99.4 ha)
- ・補助81号線沿道地区 (1.0 ha)
- ・赤羽西補助86号線沿道地区 (6.0 ha)

(3) 緊急輸送道路沿道建築物等の耐震化促進

地震発生時における建築物の倒壊により、避難、救急消火活動、緊急物資の輸送及び復旧復興活動などを支える道路が塞がれることを防ぎ、避難路及び輸送路を確保するため、緊急輸送道路の沿道の建築物の耐震性の向上を促進するため助成制度を設けている。

(4) 無電中化チャレンジ事業

木造住宅密集地域内にある歩道のない狭い道路において、震災時の電柱倒壊等による避難路の閉塞を防止するため、無電柱化チャレンジ事業を推進する。

(対象路線)

- ・区道1274号線（志茂スズラン通り商店街、志茂平和通り商店街）

(5) 木造住宅の耐震化促進

新耐震基準以前に建築された木造住宅を対象に、耐震化促進事業を行っている。

(6) 橋梁の健全度調査等

橋梁が老朽化（架設後 20～50 年が約 7 割）していることから、橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕と、定期的な橋梁健全度調査を行い、安全な交通の確保を図っている。

1) 橋梁健全度調査等

- ・ 中の橋（荒川右岸・赤羽北 1-21）
- ・ 森の下橋（岸町 1-1・王子 1-2）

2) 橋梁補修設計

- ・ 東台橋（田端 1-21・田端 5-1）
- ・ 二本榎保守用通路（西ヶ原 2-2・西ヶ原 2-3）

(7) 橋梁の維持補修工事及び架替整備事業

経年劣化による老朽化を防止し、通行車両等に対する耐荷力を保持するため、橋梁の維持補修を行うとともに、経年劣化が著しい橋梁については、計画的な架替えを行っている。

1) 維持補修工事

- ・ 滝野川橋（滝野川 4-8・滝野川 3-78）
- ・ 十条跨線橋（中十条 2-10・東十条 2-16）
- ・ 地藏坂跨線人道橋（中十条 2-10・東十条 2-16）
- ・ 田端ふれあい橋（田端 1-21・東田端 1-16）
- ・ 岩淵橋（荒川右岸・岩淵町 23）

2) 架替整備事業

- ・ 十条跨線橋（基本設計等）（中十条 2-10・東十条 2-16）
- ・ 新田橋（仮設橋整備工事）（豊島 7-33・足立区新田 3-2）
- ・ 新柳橋（仮設橋実施設計等）（豊島 2-11・堀船 2-28）

6 その他

(1) 学校体育館への空調機器設置

猛暑や気象状況の変化から児童・生徒の健康を守るとともに、防災拠点の機能向上を目的として、平成 31 年度から 2 か年で、すべての区立小・中学校体育館へ空調機器を整備する。

- ・ 小学校 35 校中 31 校（4 校は導入済み）
- ・ 中学校 12 校中 8 校（1 校は導入済み、3 校は改築時に導入予定）

(2) 本庁舎非常用電源の改修

災害対策本部を設置する第一本庁舎の非常用電源について、防災拠点としての機能強化を図るため、東京都のアドバイザー派遣制度や助成制度を活用し、平成 31 年度中に改修する。

(3) 災害医療体制の整備

災害時に開設する緊急医療救護所等の活動支援を期待し、現場から離れている有資格看護師等を対象に、講習会を実施するとともに、登録制度を導入する。

- ・緊急医療救護所 5か所（病院）
- ・医療救護所 7か所（学校避難所）

(4) 簡易型感震ブレーカーの配布（不燃化特区）

災害時の通電火災による延焼の拡大を抑えるため、不燃化特区内の木造住宅を対象に、簡易型感震ブレーカーの無料配布をモデル事業として行っている。本事業は、平成31年度が3か年計画の最終年度となる。

また、北区避難行動要支援者名簿に掲載されている方のみの世帯を対象に、簡易型感震ブレーカー及び家具転倒防止器具の取付け支援を継続実施する（器具は区民が購入）。

(5) 学校避難所への応急給水栓の設置【東京都水道局との協定事業】

災害時に避難所で給水活動が行えるよう、東京都水道局と協定を締結し、平成29年度から学校敷地内に応急給水栓を設置している。

平成31年度も、工事が可能な施設から順次設置していく。